

# 進捗報告書（実行団体）

事業名:	住まいの再建及び生活再建における相談支援事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人YNF
実行団体名:	一般財団法人日本未来創造公益資本財団
実施時期:	2021年4月～2022年2月
事業対象地域:	福岡県・熊本県・佐賀県
事業対象者:	250世帯

Version 1.2

日付： 2021年09月30日

## I. 事業概要

事業概要
①平成29年7月九州北部豪雨にて被害を受けた福岡県朝倉市の災害公営住宅の入居者に対して個別相談支援やコミュニティ支援を行い被災世帯の継続的な安心して暮らせる環境づくりを行う。②令和2年7月豪雨にて被災した大牟田市及び熊本県人吉市の被災世帯に対して個別相談支援や作業支援等を行うほか、連携団体に向けて講習会等のバックアップまたは被災者向けに相談支援制度を解説した動画を作成し公開することで被災世帯の住まいの再建を進めていく。

## II. 進捗報告の概要

総括
緊急事態宣言の発令の影響により、熊本県人吉市など県境を越える必要がある活動については停滞している。福岡県朝倉市や大牟田市などにおいても緊急事態宣言中の個別訪問が行いにくい状況があったが、他団体との連携なども活用し、ヒアリング100世帯は既に達成することができた。 また、令和3年8月豪雨の発災に伴い、福岡県久留米市では4年連続5回目の浸水被害を受けた。久留米市内で最も被害が多かったと言われる鳥飼校区においては、筑後川コミュニティ財団との連携もあり、鳥飼校区まちづくり協議会や鳥飼校区民生委員児童委員協議会、鳥飼校区社会福祉協議会など地縁組織と実効性のある連携体制を構築し、緊急支援対応にあたることができた。 下半期については、PCR検査も有効活用しながら人吉市での活動も推進していくとともに、福岡県久留米市や大牟田市では自治体との連携強化を図り、被災世帯の生活再建を進めていきたい。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①福岡県朝倉市において60世帯/全世帯のヒアリング及び対応が完了する ②福岡県大牟田市において約40世帯/全世帯のヒアリング及び対応が完了する ③熊本県人吉市において100世帯/相談対応した全世帯のヒアリング及び対応が完了する ④福岡県久留米市において50世帯/作業支援等を行う(追加助成)	①60世帯のヒアリング、対応を行った。 ②40世帯のヒアリング、対応を行った。 ③10世帯のヒアリング、対応にとどまった。 ④50世帯の作業支援等を行った。

活動	進捗状況	概要
①朝倉市における災害公営住宅入居者向けのアンケート調査 ②大牟田市における令和2年7月豪雨で被災したみなし仮設及び公営住宅への避難者などへの生活再建支援 ③人吉市における令和2年7月豪雨で被災したみなし仮設、在宅被災世帯向けの相談支援及び対応 ④久留米市における令和3年8月豪雨の緊急対応	ほぼ計画通り	①九州北部豪雨朝倉被災者を支える会と合同で災害公営住宅入居者向けのアンケート調査を行い、終了した。アンケート結果をもとに朝倉市復興推進室と打合せを行い、要望書を朝倉市市長に提出した。 ②みなし仮設・公営住宅に避難中の世帯への聞き取り及び対応を行った。みなし仮設や公営住宅の供与期間について被災者の間で誤解が広まっていたため、世帯ごとに細やかな聞き取りを行い、延長手続きのサポートを行うほか、福岡県及び大牟田市に対し、供与期間について再度周知を行う旨の要望を行った。 今後に関しては、来年度に予定される仮設住宅・公営住宅からの退去を見越して、大牟田市住宅課、保健福祉課と協議を行い、大牟田市社会福祉協議会が運営する地域支え合いセンターも含めた形で合同相談会の開催等を計画中。 ③人吉市・人吉市地域支え合いセンターと面談を行い、連携等について提案するも先方の理解を得られていない状況。一方で、現地スタッフの伝手や熊本学園大学、(一社)minori、よか隊ネット熊本等と協働で開催したイベントつながる広場の相談対応などから壊れたままの家に住み続ける「在宅被災世帯」の課題を抱える世帯と知り合い、今後サポートを行っていく。 ④令和3年7月豪雨への対応として、最も被害が大きかった鳥飼校区を中心に筑後川コミュニティ財団や地元地縁組織等と連携して家屋保全活動を行った。 また、久留米市社会福祉協議会より連携の申し出もあり、今後個別訪問を視野に入れた支援活動を行う。

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
①ヒアリングの結果、現時点では経済的な不安が認められる世帯はいなかったものの、支援金や義援金を切り崩して生活している世帯もあり、将来的にサポートが必要になってくる世帯が存在する。このため、本業の残りの期間を通して、そうした不安を抱える世帯との関係強化に努め、困りごとが発生した際に対応できる体制づくりを目指す。 ②、③新型コロナウイルスの影響による初動の遅れの影響は大きく、令和2年7月豪雨の被災地においては、来年度の仮設住宅等の解消に向けた動きを加速させる必要があるものと思われる。大牟田市においては、行政・社協の理解も徐々に得られはじめており、仮設住宅の解消に向けた取り組みについて進捗が感じられるものの、人吉市においてはこれといった動きは感じられない。また、併せて修理費用を捻出できず、壊れたままの家に住み続ける在宅被災世帯に関する課題も人吉市当局が認識していないため、今後実際の支援活動を通して、課題の存在などについての認知を高めていく。 ④令和3年8月豪雨に関しては、低水位の被害が中心であり、損害保険に加入していた世帯も多いため、自助による住まいの再建は一定程度可能なものと思われる。一方で、修理費用の捻出が難しそうな世帯も複数確認している、

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥14,383,950	¥14,383,950	¥4,595,170	32%
	管理的経費	¥0	¥500,000	¥500,000	¥321,000	64%
合計		¥0	¥14,883,950	¥14,883,950	¥4,916,170	33%
補足説明		追加助成をいただいたため、執行率が低くなっているが、人員増も行っているため、今後執行率は上がっていく予定。				

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
とくになし

#### VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	当団体HP、FBへの記事掲載
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	